

第七十九回
帝國議會
貴族院

國民更生金庫法中改正法律案特別委員會會議事速記録第五號

昭和十七年二月十日(火曜日)午後一時三十九分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) 只今ヨリ委員

會ヲ開會致シマス、大藏大臣ガ御差線リニナリマシテ御出席ニナリマシタノデ、同大臣ニ對スル御質疑ヲ先ニ願ヒタウゴザイマス

○子爵舟橋清賢君 今回御改正ニナリマシタ日本銀行法案ヲ見マスルト、所謂大東亞共榮圈ノ建設ト、ソレヲ目標トスル中央銀行、サウ云フ主トシテノ機能ヲ充足スル爲

ニ今迄ノ日本銀行デハ十分デナイト云フ理由ニ依テ御改正ニナッタヤウニ拜承シテ居リマスルガ、實ハ此ノ改正ノ法文ヲ能ク拜見致シマスルト、此ノ東亞共榮圈ニ於ケル金融ノ中樞機能ヲ發揮スルト云フダケデハ、戰後平和ニナッタ時ニモ中央銀行トシテノ日本銀行ト云フ點ニ於テ少シ物足ラヌヤウニ考ヘルノデアリマス、所謂世界ニ於ケル日本ノ中央銀行トシテノ日本銀行ノ機能ヲ十分ニ發揮スル爲ニハ、單ニ大東亞共榮圈ト云フダケノ目標デハ少シク小サクナイカ、斯ウ思フノデアリマス、其ノ點ハ例ヘバ管理通貨ト云フモノガ無制限ニ發行セラルル共榮圈、所謂區域「ブロック」ニ於テハ日本銀行ノ機能ハ、或程度迄十分ニ參ルダラウト思フノデアリマスガ、將來ハ東亞共榮圈「ブロック」ダケノ中央銀行トシテ日本銀行ガ存在スルモノデハナイノデアッテ、世界ノ通商經濟ノ一ツノ中樞機能トシテノ日本銀行ト云フモノガ必要デアラウト思フ、或ハ平和ニナリマシテモ、幾ツカノ「ブロック」

クニ依ッテ世界ガ支配セラレルト云フコトニモナルダラウト思ハレマスルガ、併シソレニシテモ各「ブロック」間ニ於ケル金融ノ一ツノ中心トシテハ、此ノ日本銀行ノ改正法律案ヲ一覽致シマスルト、何ダカ物足ラナイト云フ感ジガスルノデアリマス、或ハ觀方ニ依リマシテハ斯ウ云フ觀察ガ出來ルトモ限ラスノデアリマスガ、即チ今回ノ日本銀行ノ改正案ハ、此ノ戰爭目的ノ爲ニ非常ナ通貨ヲ發行スル、無制限ニ通貨ヲ發行スル必要ガアル、其ノ爲ニハ公債ヲ日本銀行トシテハ一應ハ引受ケル必要ガアル、ソレダケノ、其ノ二ツノ目的ガ主タル日本銀行改正ノ骨子トナッテ、今回ノ御立案ガ出來テ居ルノデハナイイカト思ハレル節ガアルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付テ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 日本銀行ノ制度

ノ改正ニ付キマシテ本會議ニ於キマシテ、

又委員會ニ於キマシテモ理由ヲ申上ゲタノ

デアリマスガ、尙只今御質問ガアリマシタ

ノ御答ヘ致シマス、只今御話ノヤウニ我

ガ國ハ、永久ニ大東亞「ブロック」内ニ於

テノミ經濟ヲ建テ、樞軸國以外ノ國ニ對シテ

ハ永久ニ戰爭シテ行クト云フ考ハナイノデ

アリマシテ、英米等ガ根本カラ今迄ノ考ヲ

新ニシテ、東洋ニ於ケル我が國ノ地位ヲ直

チニ諒解シ、之ニ即應シテ參ルヤウニ考ヲ

改メマスレバ、世界ハ平和ニナルト思ヒマ

ス、其ノヤウナ意味ニ於キマシテ世界ノ金

融經濟ト云フモノガアルノデアリマス、唯

大東亞共榮圈ノ中心銀行ト申シマスノハ、日

本ノ中央銀行デアルト同時ニ共榮圈内、是

ハ未ダ戰後ノ統治組織ガドウナリマスル

カ、日本ノ領土ニナルモノモアリマセウ

シ、獨立ヲ致シ、日本ノ指導ノ下ニ參ルモ

ノモアリマセウ、色々ゴザイマセウガ、其

ノ相互ノ決濟ヲ、各「ブロック」相互ノ決濟ノ場合ニハ金本位デナクテハナラヌト云フ假ニ考ガアルトシマスレバ、私ハ斯様ナ考ハ持ッテ居ナイ、サウデナクテモ決濟ハ十分ニ出來マスルシ、寧ロ金本位デアルト云フコトガ、或場合ニハ非常ニ經濟上惡結果ヲ來ス問題デアル、尙是ハ本會議ニ於キマシテ私ハ財政經濟方針ヲ申述ベマシタガ、金ノ重要性ト云フコトトハ別問題デゴザイマス、最近ニ於テ、「アメリカ」ト國交ノ斷絶致シテ居リマセヌ資金凍結前ニ於テハ、金ハ如何ナル經濟上ニモ是ハ「オンス」三四「ドル」幾ラデ、幾ラデモ「アメリカ」ニ持ッテ行ケバ賣レルモノデアッタ、是ガ其ノ效用デアリマシテ、三十四「ドル」幾ラデアリマス、ソレダケノ「ドル」ヲ出シマシテ、「アメリカ」カラ買ヒタイモノヲソレダケ買ヒマス、又「アメリカ」ガ國際經濟ノ中心デアリ、其ノ前ハ「ロンドン」ガ左様デアリマシタガ、「アメリカ」ノ資金ガ容易ニ「ロンドン」ノ資金ニナリ得ル、「アメリカ」ト「ロンドン」ノ資金ヲ持ッテ居リマスレバ、世界何レノ國カラ輸入致シマシテモ其ノ決濟ニ使ヘタ、簡單ニ申スト、世界的安定價值ヲ持ツ一種ノ商品ナリト私ハ心得テ居ル次第デアリマス、其ノ意味ニ於キマシテハ、管理通貨制度ニナリマシテモ、一向サウ云フ事態ガ出來マシテモ關係アリマセヌ、事實日本ハ管理通貨制度ノ實體ハ、モウ餘程前カラ備ヘテ居ル所デアリマス、ソレ等ノ關係ヲ端的ニ表示ヲ致シマスコトモ、本制度ノ制

定ノ上ニ現レテ居ル所デアリマス、從來ノ日本銀行ノ制度ハ、沿革的ニハソレノ理由ガアリマシタガ、税制ノ變遷、國家ノ活動ノ分野等ノ相違致シマスル今日ニ於テ、産業金融ノ上ニ於キマシテモ、亦信用ノ制度ノ保持育成ト云フコトニ於キマシテモ、通貨ノ調節ニ於キマシテモ、其ノ規定ハ適切デアリマセヌ、ソレヲ變ヘマスコトガ必要デアリマス、是ハ獨リ戰時中ノミナラズ、戰後ニモ長キニ互テ必要デアルト云フコトヲ考ヘテ參リマシタ、唯公債引受ノ都合ノ好イ爲ニ拵ヘル、斯ウ云フヤウナ簡單ナ考デアリマセヌ、現在デモ別ニ一向差支アリマセヌシ、改正セヌデモ其ノ點ハ實行上ハ差支ヘナイ、是ハ支那事變前カラ公債引受ノ制度ハ行ハレテ居リマシタノデアリマス、大體通貨ノ量ハ金ト關聯ヲ持タナケレバナラスト云フ考ハ政府ニナイノデアリマシテ、寧ろ關聯ヲ持ツコトニ依ッテ、却テ場合ニ依ッテ誤ヲ生ズルト云フ考ヲ持ッテ居リマス、併シナガラ其ノ觀念ハ、通貨ノ基礎ガ金ト離レタカラ、通貨ハ無制限ニ出シテモ宜シイノデアルト云フ考デハ絕對ニナイノデアリマシテ、兩者ハ別ノコトナノデアリマス、我々ハ金ヲ通貨ノ基礎トスルコトガ適當トスル所以ニアラズト、斯ウ思ッテ居ルノデアリマス、然ラバ今後通貨ノ適量ヲドウ云フ風ニシテ期スルカト申シマスルト、銀行的操作ト致シマシテハ、日本銀法ニ於テ今度新ニ規定致シマシタ規定ニ依ル各種ノ操作デアリマス、無論一部ハ從前ヨリ多少條例等ノ範圍ヲ逸脱スルカモ知レマセヌガ、已ムヲ得ズ實際ノ必要ニ應ジテヤッテ居タモノガアリマス、是以上ニ尙是ガ正當化サレマシテ、ハッキリヤッテ宜イコトニ

ナリ、一層其ノ範圍ガ擴ガルノデアリマス、併シナガラ一國ノ通貨ハ現在ノ如ク國家總力ヲ最モ有效ニ働カシ、戰爭ト云フ國家ノ有ラユル力ヲ最モ綜合的ニ發揮致シマスル時ニハ、ソレダケノコトデハ到底適當ヲ期スル譯ニ參リマセヌ、如何ナル方法デ適當ヲ期スルカト申スコトハ、根本ハ斯ウ云フ考ニアリマス、一國ノ購買力、假ニ通貨ノ面カラ申シマシテ購買力、詰リ一國ノ物價ノ需要ト云フモノガ或期間、或時ニ於テ其ノ供給量ヲ逸脱シナイ、是ガ極メテ必要ナ所デアリマス、ソレヲ別ノ方面カラ申上ゲマスナラバ、所謂世間ニ物ノ豫算ト云フヤウナコトヲ申シマス、是デアリマス、豫算モ徒ニ金額ヲ増加致シマシテモ、其ノ豫算ヲ實行シテ行ク上ニ、國家ノ支出ヲ致シテ行キマス上ニ、ソレニ依ッテ調辦スベキ資材若シクハ勞力ト云フモノガ存在致サヌ場合ニ於テハ、金ヲ支出シマシタ效果ハアリマセヌ、ソレハ唯徒ニ物價騰貴ヲ起ス、所謂惡性「インフレ」ノ方向ニ向フノミデアリマス、從ヒマシテ必ズ通貨ニハ、同時ニソレニ依ッテ購入スベキ物資ノ存在ト云フコトヲ前提ト致サナケレバナラス、況ヤソレガ國家全體ノ經濟トシマシテハ國ノ豫算ノミナラズ、民間ニ於テ國民生活ノ維持ノ爲ニ、或ハ生産力擴充ノ爲ニ、之ニ出マスル金ガ同時ニソレダケノ對象タル物資ガナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘマスカラ、結局之ガ物資ノ一國ノ需給調節計畫、是ハ昭和十二年ニ出來マシテ、事變ノ始リマス前カラ、經濟上ノ重大方策トシテ政府ハ決定致シ、ソレガ所謂物動計畫ト云フ名前デ、大體重要ナ物資ニ付キマシテハ、皆行ハレルヤウニナッテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、

一面ニ於テ物資ノ非常ナ生産ノ増強ト云フコトヲ圖リ、一面ニ於テ消費ノ規正、節約ヲ圖リ、サウシテ戰爭ニ必要ナル、生産力擴充ニ必要ナル物、國民生活ニ必要ナル物ニ付キマシテ金ト物ヲ合セル、ソレガ根本ノモノデアリマス、デアリマスルカラ一國ノ豫算總額ト云フモノハ、架空ニ唯金錢デ見積リマシテ、一國ノ物資ノ存在ヲ前提ニ致シマシテ、此ノ制約ガ適當ニ行ハレマスルナラバ、所謂惡性「インフレーション」ト云フコトモ起ラズ、通貨ノ膨脹ト云フコトモ起リマセヌ、其ノ計畫ヲ維持スル手段ト致シマシテ、其ノ消費ノ規正デアリ生産ノ増加デアリマスルガ、通貨ヲ主ト致シマスル大ナル政策ハ國民貯蓄ノ増加デアリマス、之ニ依リマシテ年々通貨ノ發行量、收縮量ト云フモノヲ豫定致シ、是ハ租稅及國民貯蓄ノ増強ニ依ッテ其ノ目的ヲ達スル、其ノ方策ガ昭和十三年以來行ハレテ居リマスコトモ御承知ノ通りデアリマス、大體年々其ノ目的ヲ達スルニ近イト申シマスカ、シテ參リマシテ、今日ニ於テハ細カイ議論ヲ致セバ色々アリマセウガ、既ニ何十億ト云フ通貨ヲ毎年發行致シ、新規發行總計モ隨分ノ額ニ上ッテ居ルト思ヒマスガ、是ガ適切デアルカドウカト云フコトハ別デアリマスガ、大部分ハ其ノ吸收ヲ圖リ、通貨ノ適量ヲ期シテ居ル譯デアリマス、假ニ通貨ガ出セルカラ幾ラデモ出セルヤウニスルト云フ考ハ毛頭持ッテ居リマセヌコトハ、獨リ今ノ政府ノミナラズ、歷代皆左様デアリマシテ、獨リ銀行ノ所謂金融操作以外ニ今日ノ日本ノ經濟計畫、通貨金融計畫ニ依リマシテ、適正ヲ期セムトシテ居ルヤウナ譯デアリマス、大體右様ノ考デヤッテ居リマス次第デア

リマス
○子爵橋本清賢君 非常ニ各般ニ互ッテ詳細ニ御意見ヲ拜承致シマシテ、厚ク御禮ヲ申上ゲマス、私ハ此ノ日本銀行ノ只今ノ改正案ト云フモノハ、今戰爭ガ始メタ極初期ニ於テ斯ウ云フ改正案ヲ御提案ナサルヨリモ、一應戰局ガ治リマシタ上ニ於テ、世界各國ノ經濟通商ト云フモノガ大體平和ノ狀態ニ還リマシタ際ニ、十分ニソレ等ノ關係ヲ御見透シニナッタ上デ改正ヲナサルベキデアッタノデハナカラウカ、斯ウ一應疑問ヲ持ツノデアリマス、戰爭ガ開始セラレマシテ間モナク、卒然トシテ今度ノ大改正ヲ爲サツガ爲ニ、只今大藏大臣ガ御説明ニ相成リマシタ金トノ關係ト云フモノガ、表面管理通貨ノ制度ヲ御採リニナッタ爲ニ斷絶シテ居ルカノ如ク見エマスガ、又一面ニ於キマシテハ、貨幣法ノ第二條ハ今尙存續セラレテ居ルノデ、一面ニ於テ尙關聯性ガアルヤウニモ思ヘル、斯ウ云フ點カラ見マスルト、今一ツ今度ノ改正案ガ貨幣法ノ改正ヲ伴ハナイ改正デアルト云フ點カラシテ、謂ハハ臨時的ノ、一時的ノ大改正デアルト云フコトニモ見ラレルノデアリマス、若シ臨時的ノ、一時的ノ改正デアラバ、現在各種ノ法規デ一應日本銀行トシテノ機能ハ賄ッテ居ラレルノデアリマスルカラ、其ノ程度デ現在改正ヲナサラナクテモヤッテ行ケルノデハナイカト、斯ウ思フノデアリマス、何故此ノ戰爭ノ途上ニ於テ斯ウ云フ大改正ヲナサツタノデアリマスルカ、其ノ點ヲ一應伺ヒマス
○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ御言葉デアリマスガ、實ハ相當前ニ出來タモノノデ、日本銀行條例ガ明治十五年デアリマスカ、

兌換銀行券條例が明治十七年デ、何シロ六十年前ノモノデゴザイマスカラアレデハイケナイノデ、例ヘバ今見返擔保デヤッテ居リマスガ、是ハ本當ハ違法カモ知レマセス、工業ハ一切直接間接關係シテハナラヌト書イテアリ、サウ云フコトハ事實行ハレナイコトニナッテ居リマスガ、ヤカマシク言ヘバソレニ反スルコトモアリマセウ、併シ見返擔保ノコトヲヤルト云フコトモ行ハレテ居リマスガ、所謂古イ革ガ餘リニ古クナリマシテ、新シイ酒ヲ盛レナイ、愈、行詰ッテ參ッタノデ、數次ノ改正ト云フコトモ考ヘラレテ居リマシタ、ソレカラ金トノ關係ニ致シマシテモ、實ハ明白ニ離脱シタ一階段ハ、昭和十二年ノ金準備ノ評價法デアリマス、是等ハ明白ニ離脱シテ居ル一ツノ大キナ證左デ、一匁五圓ガ十圓幾ラデアリマスカニ改正シタ、從來貨幣ノ價值ノ觀念ガ金ヲ主トスル觀念ガアリマシテ、ソレノ當否ハ別ト致シマシテ、是ガ長年ノ間多數ノ人ノ頭ノ支配ヲ致シテ居リマス、昭和十二年頃當時ハ私丁度局ニ當ッテ居リマシタガ、初メテ支那事變ガ起ッタ當時、我が國ノ財政經濟ト云フモノハ非常ニ悲觀說ノ多イ時代デアリマス、又運用ノ仕方ニ依リマシテハ、相當心配スベキ狀態ニナル可能性モナイコトハナイ、當時金カラ離脱シテ適當ナリト私ハ理論トシテハ考ヘタガ、各般ノ情勢ヲ考ヘマシテ、未ダ其ノ時期ニ非ズト云フノデアア云フ法律ヲ作ッテ、更ニソレガ非常ニ明瞭ニナリマシタノガ昨年ノコトデアリマス、是ハマア人々デ色々御説ガアリマセウガ、大體ハ今日金本位ヲ離脱スルト云フコトハ、社會全體カラ考ヘマシテ經濟上何等ノ不安ナシ、其處迄ニ參ッテ居ル、斯ウ云フ觀

察ヲ致シテ居ルノデアリマス、サウ云フ風ニナリマシタラ早クヤリマシタ方ガ宜イノデアリマス、今後東亞共榮圈ノ各地域ノ指導ニ當リマシテモ、矢張り從來ノ金本位ノ觀念ガ相當ニアル地域モアリ、是等ノ漸次鞭撻致シマシテ導ク上ニ於テモ、是非ハ必要コトデアアル、其ノ意味ニ於キマシテモ私ハ今ガ實ハ一番適當ナ時期デアアル、或ハ晩キニ失シテハナラヌト思ヒマスコトガ一ツデアリマス、ソレカラ一ツハ大東亞戰爭ト云フモノハ、私共長期ニ亙ルモノト考ヘテ居リマス、幸ニシテ英米ヲ終極的ニ、極メテ短期ニ屈服セシムレバ幸デアリマスガ、ソレハ豫期ヲシテ參ルコトハ出來ナイコトデアリマス、從ッテ大東亞戰爭ノ進ミマス迄待チマスト云フコトハ、今後非常ナ長イ間ヲ待ツト云フコトニナリマスノデ、ソレ迄到底只今ノヤウナ狀況デハイカヌコトト思ヒマス、從ッテ寧ロ此ノ機會ニ改正ヲシナケレバナラヌト思ッタクヤウナ次第デアリマス、尙貨幣法ヲ改正スノガ當リ前デアリマスガ、本期議會ニハ實際ニ於テ必要ナルモノノミノ提案ニ限ルト云フ方針デアリマシタ爲ニ、貨幣法自體ノ方ハ暫ク存在シマシテモ事實殆ド關係ガアリマセヌノデ、是ハ忍ビ得マスノデ出シマセヌデシタガ、尙今後ノ機會ニ於テアノ方ヲ改正ヲシテ參ル、コチラハ現在臨時ノモノニナッテ居リマスノデ、コチラノ方ヲ改正シテ參ル、斯ウ云フ考ヘ方ヲシテ居ルノデアリマス

七十八條ニ於テ日本銀行條例、兌換銀行券條例、ソレカラ其ノ他金準備評價法ト云フヤウナ法律ガ廢止ニナッテ參ッタノデアリマシテ、ソコデ伺ヒタイノハ、此ノ法案ノ第三十二條ノ末項ニ「日本銀行ハ第二項各號及前項ノ保證ノ價格ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ」ト云フ規定ガアリマスルガ、此ノ保證ノ價格ヲ主務大臣ガ定メルト云フ、是カラ先ノ基準ト云フモノヲドウ云フ處ニ御置キニナルノデアリマス、此ノ點ガ今一ツハッキリシナイノデアリマス、サウシテ是迄ノ產金買上價格並ニ爲替銀行ニ對スル政府ノ金ノ拂下ノ價格ト云フヤウナモノハ、大體金準備評價法ニ依リマスガ、二百九十「ミリグラム」一圓、此ノ基準ニ依ッテ御決定ニナッテ居ルト云フコトデアリマスガ、今回は廢止セラレマスルト將來色々政策上、此ノ買上價格、拂下價格ト云フモノヲ御變更ニナル場合ガアラウト思フノデアリマス、其ノ場合ニ於ケル金ノ價格ノ決定ノ基準ト云フモノハ、ドウ云フ處ニ御採リニナリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

ノ内地ニ於ケル產金ノ買上價格トカ、ソレカラ外地ニ於ケル產金ノ買上價格トカ、サウ云フ場合ニ於キマシテ、將來其ノ都度サウ云フ狀況ト言ヒマス、サウ云フ條件ヲ入レテ御決定ニナリマス、現在ニ於テハ暫ク二百九十「ミリグラム」一圓ト云フ標準價格ニ於テオヤリニナルト、斯ウ了承シテ宜シウゴザイマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ金ヲ餘計利用致シマス場合ニハ、採算ノ惡イ山モ掘ラナケレバナラヌ場合ガアリマス、サウ云フ場合ニ買上價格ヲ増シテ參リマス、或ハ補助金デアリマス、或ハ全體ノモノヲ「プール」平準價格的ニ行キマスルカト云フコトハ、其ノ時ノ時宜ニ依ッテ決定シタイト思ッテ居リマス

○子爵舟橋清賢君 ソレカラ尙一點伺ヒタイノデスガ、此ノ日本銀行ノ爲替買上進出スルト云フコトニナルト、勢ヒ正金銀行トノ取引ノ分野ニ或程度ニ於テ重複ト申シマスルカ、交錯シテ來ルト云フヤウニ思ハレルノデアリマスガ、此ノ點ニ於キマシテ當局トシテドウ云フ御考ノ下ニ今後ヤツテ御行キニナルノデアリマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 貿易業者、個々ノ商社トノ爲替取引ハ正金銀行其ノ他ノ爲替銀行ガ致スト云フコトハ、今ト變リガナイ行キ方デアリマス、日本銀行ガ自ラ貿易業者等ノ、其ノ輸出爲替ヲドウスルト云フヤウナコトハ致シマセヌノデ、寧ロ爲替銀行ガ色々取引ヲ致シマスル其ノ爲替ノ尻ト申シマス、サウ云フモノハ寧ロ集メテ行ク、ソレカラ各共榮圈地域間ノ相互ニ於キマシテ必ズシモ受取、支拂ニハ各地相互間ニ一致致ス譯デモナイト思ヒマス、支拂超

過ノ所アリマスシ、受取超過ノ所モ出來マスガ、サウ云フモノハ各地域ノ中央銀行的ノ機關ヲシテ相互ノ預金其ノ他ニ付テ調整ヲセシメタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、日本銀行ハ、正金銀行或ハ臺灣銀行其ノ他ノ爲替ヲ扱ッテ居ル銀行ニ付テハ、サウ云フ風ヲ爲替銀行ノ又中央銀行ト云フ風ナ立場ヲ執ラシテ參リタイ、相互ノ詰リ組合セデアリマシテ、他方ノ領域ニ侵入ヲシテ行クト云フ考ヘ方デナク參リタイト思ヒマス

○子爵舟橋清賢君 此ノ正金銀行、ソレカラ臺灣銀行トカ、矢張り今後共榮園内ニ於テ大イニ活躍シナケレバナラヌト思フノデアリマスルガ、是等ノ銀行ノ現在ノ機能デ十分デアルト御考ニナリマスカ、將來斯ウ云フモノヲモウ少シ内容ヲ擴充シテ、モット積極的ニヤルト云フ必要ハナイモノデアリマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 日本ノ爲替銀行ハ、米英ノ資産凍結ノ斷行ニ依リマシテ世界ノニハ活動ノ範圍ガ狭クナル、其ノ代リニ共榮園内ニ於テハ從來ヨリモ活動ノ分量ガ非常ニ多クナルダラウト思ヒマス、減ル所モアリマスガ、殖エル所モアリマス關係デ、今非常ナル機構ノ増大、改正ヲシナケレバ間ニ合ハヌト云フ風ニモ考ヘテ居リマス

○子爵舟橋清賢君 大體了承致シマシタガ、此ノ日本銀行ノ今回ノ改正ノ案ヲ拜見致シマスルト、從來ノ日本銀行ヨリモ、日本銀行當局ト云ヒマスカ、日本銀行自體ノ自主性ト云フモノガ非常ニ少クナッテ居ルノデアリマス、而モ此ノ改正案ノ趣旨ハ、積極的ニ中央銀行トシテノ使命ヲ完成スル、全

ウスルト云フ目的ニ存スルヤウニ親ハレルノデアリマスルガ、此ノ自主性ト云フモノガ非常ニ減少致シマスルト、例ヘバ國內ノ金融ニ付キマシテモ、其ノ時々ノ金融界ノ變動ニ臨機ニ處シテ行クト云フ、極メテ機敏ナ處置ガ兎角機ヲ逸シ、遅レルト云フヤウナ處ガアルヤウニ一應思ハレルノデアリマスルガ、此ノ點ニ付テ大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 自主性ト云フコトニ付キマシテハ重要ニ考ヘラレマスルガ、從來斯ウ云フ考ヘ方ガ一ツアリマシタ、日本銀行ハ政府ノ意思如何ニ拘ラズ、獨自ノ立場ヲ執ッテ居ルノダ、マア少シ言葉ガ惡イカモ知レマセスガ、政府ガ其ノ時々都合ガ好イヤウナコトガアルト思ッテモ、ソレヲサウシナイデ、金融ノ安全ヲ圖ッテ行クト云フヤウナ考ヘ方モ、確カ世間ノ一部ニアッタ思フノデアリマス、又制度モサウ云フ風ナ考ヘ方ガ入ッテ居ル部分ガアル、是ハ今ノ日本ニ於キマシテハ、今ト云フトホソノ戰爭ノアリマスニ三年前ノコトデアリマスガ、是ハ將來ノ國家ノ動向全般ニ互ニテデアリマスルガ、モウ今後數十年國家ガ一丸トナッテ的確ナル目的ヲ定メ、經濟其ノ他ノモノガ皆一丸トナッテ、金融モ産業モ皆ソレデ宜イ、産業ハ金融ノ如何ヲ構ヒナク自分

ダケ進ンデ行ク、サウ云フヤウナコトハ到底許シマセス、總力ガ調和ヲ得テ集ッテ、最大ノ力ヲ發揮スルト云フ方向ニ行カナケレバナラス、政府ト日本銀行ガ相抗スルト云フヤウナ考ハ、左様ナコトデハ到底國家ハ戰爭ニ勝抜コトガ出來マセス、ノミナラズ一旦得タ戰果ヲ確保スルト云フコトハ

到底出來マセス、其處ガ詰リ一元化スル政府ノ政策ト即應スルト云フコトヲ、極メテ明瞭ニ致シマシタ點デアリマス、ソレデ今回ノ一元化、所謂自主性ガナクナルカト云フ方面ハ其ノ方ニ寧ロアリマスルノデ、行動ヲ致スコトニ付テハ從來ニ較ベテ何等制肘ハアリマセス、寧ロ信用保持ナドニ付キマシテハ、從來特ニ法律デモ出シマセスケレバ銀行ノ救済ナドニ乗出シマセスガ、銀行ガ一時ノ原因、何カノ原因デ取付ナドニ會ヒマシテ、之ヲ救済スレバ又將來健全ナル金融機關ニ還ル見込ガアリ、預金者モ亦債務者モソレデ非常ニ急激ナル變動ヲ蒙ラズ、損失ヲ蒙ラズ行キ得ルコトガ出來ル、サウ云フコトニ俄ニ活動スルコトハ困難デアリマシタガ、今回ノ制度ノ改正ニ依リマシテサウ云フコトモ非常ニ容易ニ相成リマス、ソレカラ各種ノ資金ノ放出ノ途、吸收ノ途モ從來ヨリ殖エマスノデアリマス、此ノ行動ノ機敏サト云フコトニハ、寧ロ今回ノ改正ノ方ガ能ク動ケルト云フコトニナッテ居リマス、オ互ニ相控制スルト云フ點ガナケレバ……是ハオ互ニ控制シテ惡イ事ヲナサヌト云フ爲ニハ宜シイ制度デアリマセウガ、進ンデ善イ事ヲスルト云フコトノ爲ニハ非常ニ又害ニナル方面ガアリマス、今ハオ互ニ惡イ事ヲスルノデヤナイ、進ンデ最善ヲ盡シテ尙且及バザル時代デアリマスカラ、其ノ意味ニ於キマシテ從來ノ自主性ト云フコトハ餘程ナクナル譯デアリマス

○子爵舟橋清賢君 日本銀行關係ノ件ハ一應是デ終リマス、ソレデ資金調整法中改正法案ニ付テ一件ダケ伺ヒタイト思ヒマス、此ノ法案自體ニ付テハナイノデアリマスケレドモ、實ハ此ノ國債ガ百數十億モ發行セラレルト云フ際デアリマスルノデ、同時ニ各種ノ社債ガ矢張り斯ウ云フ時局ノ必要ニ應ジテ多額ニ發行ニナルノデアリマス、之ニ對スル經濟界ニ於ケル消化能力ノ問題ガアルノデアリマス、國債ノ購入ニ付テノ勸誘等ニ付テハ、政府ハ非常ニ御盡力ニナッテ居リマスルガ、同時ニ社債類ニ對スル斯ウ云フ消化ト云フモノガ、今後益、其ノ増額ニ應ジテ消化能力ト云フモノガ低下スルデハナイカト思フノデアリマス、其ノ社債ニ對シ政府ガ、ドウ云フ今後方針ヲ以テ御臨ミニナルノデアルカ、此ノ資金調整法ニ於テ大體ノ限度ト云フモノヲ、年々國債ト同様ニ見透シヲ御付ケニナッテ、或金額ト抑ヘルト云フ方針ヲ御執リニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、一方ニ於テハ又消化ト云フコトニ付テ相當ニ政府ガ援助ヲオシニナラナイト、ナカノ思ハシクヤッテ行ケナイノデヤナイカト、斯ウ思フノデアリマスルガ、是等ノ點ニ付テモ政府ノ御方針ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 第一前提ト致シマシテ、私ハ國債モ社債モ同ジニ考ヘテ居リマス、ト申シマスノハ、斯ウ云フコトガ一ツ出來テ居リマス、今日ニ於テハ國家ノ目的ヲ達シマスル爲ニ、詰リ戰爭ニ勝チ抜キマスル爲ニ、ソレニ必要ナル生産力ノ維持擴張ハ、是ハ無論生産ト申シマシテモ各種ノ運輸交通カラ皆入リマスルガ、サウ云フモノニ必要ナラザルモノハ絕對ニ株式ノ拂込ニシマシテモ、銀行ノ貸出ニシマシテモ、無論會社ノ新設、社債ノ發行ニ致シマシテモ致サセス、是ハマア昭和十二年ニ資金調整法ヲ、支那事件擴大已ムヲ得ズ決リマシタ後ノ臨時議會ニ御協賛ヲ經マシタ根本

ノ精神ハ其處ニアリマス、限ラレタル資材、限ラレタル資金ヲ以テソレ以外ノモノヲヤル餘裕ハ到底ナイノデアリマス、國家必要ト認メラレモノモ、ソレヲ設備致シマスル資材等ハナカノ思フニ任サヌノデアリマス、必要ナラザル所ニハ一厘モ金ガ行カナイヤウニスルト云フコトガ一つノ考ヘ方デアリマス、然ラバ是ガ社債ノ形デアリマセウトモ、株ノ形デアリマセウトモ、國債ノ形デアリマセウトモ、直接政府ガ利用スルカシナイカノ差コソアレ、國家目的ヲ達シマスル爲ニハ同質ト見ナケレバナラス、私ハ國債消化ニシテ、社債消化ニシテ、兩方同ジ考デ行クベキモノデアルト、斯ウ考ヘテ居リマス、一面サウ考ヘマス時ニハドウシテ消化サスカト云フコトヲ考ヘマス、先程通貨ノ際デモ申上ゲマシタヤウニ、國債ニ依ッテ結局ソレガ財源ニナリマシテ、必要トスル所謂戰用資材其ノ他ノモノモ社債其ノ他ヲ本ニシマシテヤリマスル生産擴充資材モ、是ハ限度ガアリマスガ、ソレノ無論増産ニハ努メマス、又輸入ニ致シマシテモ、或時ニ於テハ一定限度以外ニハ行カナイノデアリマス、之ニ合フ程度ニ止メル、是ガ物動計畫デアリマシテ、ソレニ合フヤウニ致シマシテ社債ノ發行其ノモノハ如何ナル事業ニドノ程度ト云フ風ニ制限ガ出來マス、是ガ詰リ一國ノ資金計畫デアリマス、此ノ資金計畫ニ必要ナダケハ必ズ國民貯蓄ノ増加デ作りマス、是ハ昭和十三年春ニ初メテ國民貯蓄ノ増加ノ政策ヲ發表致シマシタ時モ其ノ考デアッタノデアリマス、必要ナラザル金ハ一厘モ使用出來ナイヤウニスルト同時ニ、必要ナル金ハ必ズ之ヲ貯蓄ノ増加ニ依ッテ即チ銀行券ノ増發

ニ依ラズシテ作ルノデアリマス、而モ其ノ作ル限度ハ一國ノ資材ノ制約ノ範圍内ニ置ク、此ノ根本方針デ行キマスナラバ、國民ノ日常生活ノ消費ガ收入ノ増加ニ連レテ膨脹致シマセヌ限り、殘額ハ租稅及國民貯蓄ニナリマスカラ必ズ賄ヒ得ル譯デアリマス、若干ノ場合ニ於テ今申上ゲマシタヤウナ通貨ノ膨脹ハアリマシタガ、昭和十三年以來ノ經過ハ大體右ノ根本方針ニ沿ヒ良好デアリマシテ、是ガ困難ヲ感ジナガラモ生産力擴充資金モ大體出來、國債モ大體ハ消化致シ、惡性「インフレーション」モ起ラズニ參リマシタ原因デアアルノデアリマス、サウ云フ計畫ヲ一面ニ於テ強化シテ參ッタノデアリマス、簡單ニ申上ゲマスレバ、國民貯蓄ノ増加、貯蓄獎勵ガ基本デアアルノデアリマス、ソレデ必ズ必要ナダケノ金ヲ作ルト同時ニ、初メカラ必要額ト云フモノヲ右様ニ無制限ニ致シマセヌデ抑ヘテ行キマシテ、ソコデ一國ノ資金計畫ガ出來、物動計畫ト相俟ッテ生産擴充計畫ガ資材ノ方面ト資金ノ方面ト出來上リマス譯デアリマス、其ノ範圍ニ於テ按配宜シキヲ得レバ、必ズ國債社債等ハ消化致ス譯デアリマス、併シナガラ今迄ソレガ完全ニ參ッタトハ申セマセヌガ、大體ソレニ近ク行ッテ居リマス、又一年間ヲ通ジテソレガ所期ノ如ク參リマシテモ、ドウモ工合ガ惡イコトガアリマス、ソレハ場所ニ依ッテ資金ノ餘計アル所ガアルカラデアリマス、是ハ地域ト申スヨリモ、金融機關ソレ自體ニ依ッテ餘計集ル所ガアリ、而モ需要ハ其ノ方ニハ餘計申込シテ來ナイ、又一方ニ於テ大キナ需要ハアルガ、資金ハソレ程集ッテ來ナイ、又時期ニ依リマシテモウ少シ經テバ定期預金ナリ、郵便

貯金ニ蓄積ガ出來ルノデアリマスガ、資金ノ需要ノ方ガ一定先ニ來ルト云フヤウナ縱横ノ喰違ヒガ相當起リマス、ソレカラ又何シロ長イ間ノ情勢モアリマスノデ、銀行ノ經營者等モ同種類ノ社債ヲ澤山持ツト云フコトハ嫌ヒガアリマスガ、國家ノ政策トシテ社債ノミガ澤山出ルト云フヤウナコトモアルノデアリマシテ、所謂好キ嫌ヒト申シマスカ、單純ナル好キ嫌ヒデハアリマセヌガ、長年ノ銀行ノ經營ヲ組織ノ上カラ氣ノ向クモノト向カヌモノトガアルノデアリマス、右ノ様ニ全體トシテ要ルダケノ金ガ出來マシテモ、無理ニ初メカラ餘計社債ヲ出スト云フコトヲヤリマス、全體ヲ睨ミ合スコトガ困難デアリマス、是ガ出來ナイ以上ハドンナニ他ガウマク合ッテモ駄目ナノデアリマス、又ソレガ合ッテモ今申シマシタヤウナ時間的ニ、又區域的ト申シマスカ、金融機關ソレ自身等ニ於テノ喰違ヒガアリマスカラ、根本ノ貯蓄獎勵ニ努メマスルト共ニ、其ノ喰違ヒヲ相當是正シテ行クコトガ肝心デアリマス、之ニ付テハ民間ノ金融業者ノ方ニ於テモ色々努力サレマシテ、或ハ金融協議會ガ出來、或ハ時局共同融資團ガ出來マシタリシテ、之ニ政府モ色々相談ニ乘リ、又指導ヲシテ參ッタノデアリマス、此ノ金融機關ノ資金ノ運用等ヲ尙一層ヨク行カセル爲ニ、總動員法ニ基キマシテ全國金融統制會、其ノ外ニ各業態別ニ依ル組織ヲ作りマシテ、是等ノ機關ニ依ッテ金融機關ノ經營ノ方面カラモ不合理ガナイヤウニ、詰リ申上ゲレバ各機關ニ依ッテ資金、「コスト」等モ違ヒマスノデ、何デモオ前ハ公債ヲ持テト言ッテ、利廻ノ惡イ公債バカリ持タセル譯ニモ參リマセヌ、ソコデ經營ニ應ジテ利廻ノ高

イモノト安イモノトヲ組合セルトカ、色々シテ相互ノ按配ヲシナガラ行クト云フ、要スルニ資金ノ一つノ配分計畫ト申シマス、斯ウ云フ方ハ今後金融統制會ニ於テ、相當ウマク致シタイト思ヒマス、ソレカラ又今回ノ日本銀行ノ改正モ時間的ノ調節ニ相當役ニ立ツノデアリマス、此ノ改正デ產業金融ニ日本銀行ガ乗出スノダト云フコトヲ能ク言ハレマス、又乗出スト云フコトヲ申上ゲテ居リマシタ、ソレガ往々誤解ヲ受ケマシテ、社債ヲ株式拂込ノ源泉ヲ銀行券ノ發行デアル、日本銀行券ヲ持ッテ行ケバドンドン出來ルト云フ風ニ取ル人モアリマス、其ノ結果ガ日本銀行カラドンノ無制限ニ金ガ出ル、非常ニ危イデヤナイカト云フ御心配ガ出ルコトモアリマスガ、私共ハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマセヌ、固定ノ產業資金ハ必ズ一方ニ物的設備ガ伴フノガ原則デアリマス、デスカラ國民ガ働イテ暮シニ使ッタ餘リ、詰リ一方蓄積ト云フモノガ國民ガ其ノ收入以上ニ消費ヲシナイデ全體のニ出來テ居リマス、サウ云フ國民ガ働イテ殘シタ金デナケレバ、眞ノ戰費ヲ固定設備ヲ要スル產業資本ニハナラナイト考ヘマス、ソレデスカラ無制限ニ日本銀行券ヲ發行シテ、株式ノ拂込資金ヲ社債ノ元ヲ作ルノデハアリマセヌ、唯今日一般銀行ヤ、信託ヤ、郵便局ニ資金ガ集ッテ參リマスノガ少シ遅レルガ、片方デ金ヲ出サナケレバナラナイノデアリマシテ、或ハ二月トカ、四月トカ、數箇月ノ時間的調節ヲ執ル必要ガアルノデスガ、ソレガ行カヌ爲ニ非常ニ摩擦ヲ感ジテ居ルト思ヒマス、ソレデ今回ノヤウニ改正ヲ致シテ、一面サウ云フヤウナ方法ヲ以チマシテ社債ノ消化ガ從來ヨリモ圓滑ニ行

クヤウニ努メタイト思ヒマス、併シ經濟上ノコトデアリマスカラ、此ノ途サヘ開カレレバソレデ何デモ行クト云フ譯ニハ參リマセヌ、最近國策會社ノ政府保證債ト云フモノガ相當澤山出マスガ、是ナドハ馴染ノナ

イモノデアリマスノデ、ドウシテモ賣行ガ惡イコトニナリマス、ソコデ是等ノ社債ノ利子ニ對シマスル稅ヲ極ク少シデハアリマスガ、安ク致シテ居リマス、此ノヤウナコトガアリマスノデ、日本銀行ノ作用ト云フモノハ、金融統制會ノ資金ノ適正ナル配分ノ斡旋ト云フコトニ俟ツ場面ガ非常ニ多イト思ヒマス

○子爵舟橋清賢君 私ノ質問ハ是デ終リマス

○岩田宙造君 戰時金融庫法ニ付テ一ツダケ御尋ネシタイノデゴザイマス、是ハ實ハ政府委員ニ御尋ネラシテ、一應御答ヲ得タノデアリマスガ、其ノ御答ガ少シ不明瞭ノヤウニ感ジマスノデ、大臣ノ御説明ヲ得テハハッキリサシテ置キタイト思ヒマス、ソレハ第一條ノ「戰時ニ際シ」ト云フコトデアルノデアリマス、此ノ「戰時ニ際シ」ト云フノハ、外ノ法案ニモ澤山使ハレテ居ル言葉デアリマシテ、今迄政府ノ御説明ニ依リマス時戰時ト云フノハ、戰争ノ御詔勅ガ出テ平和克復迄ノコトヲ言フノデアアル、從ツテ「戰時ニ際シ」ト言フノハ戰時中ト云フ意味デアルノデ、平和克復スレバモウ「戰時ニ際シ」ト云フコトハ言ヘナクナルト云フ御説明デアリ、サウ云フ風ニ略、一定シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、從ツテ本法モ自然サウ云フコトニ解釋サレト思ヒマスガ、サウ致シマス、平和ガ克復致シマス、其ノ瞬間カラ本法ニ依ッテ新タ

ニ資金ヲ貸出ストカ、或ハ有價證券ノ買入ヲスルト云フコトハ出來ナクナルコトノヤウニ思ハレマスガ、如何デゴザイマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 御質問ノ通りデアリマス

○岩田宙造君 サウ致シマス、實ハ政府委員ハ其ノ點ニ付キマシテ平和ガ克復シテモ、暫クノ間ハ新タ出資ト云フコトハ出來ナイカモ知レナイガ、併シ有價證券ノ市價安定ノ爲ニ有價證券ヲ買入レルト云フヤウナコトハ、マア暫クノ間ハ戰争ガ熾ンデモ出來ル積リダ、斯ウ云フヤウナ御説明ガアツタモノデゴザイマシタカラ、其ノ點ヲ實ハハッキリシテ置キタイト思フテ御尋ネシタノデアリマスガ、今ノ御説明デ其ノ點ハ能ク了解致シマシタ、併シ此ノ外ノ治安ニ關スル事項デゴザイマストカ、或ハ戰争完遂ニ直接關係シテ居ルヤウナ事項ナラバ、戰争中ト云フコトガ最モ適當ナ決メ方ノヤウニ思ヒマスガ、本法ノヤウナ生産擴充、産業再編成或ハ有價證券ノ市價安定ト云フヤウナコトハ、平和ガ克復シタ後ニ矢張り相當必要ガアルノデハナイカト考ヘラレマスルノデ、只今ノヤウナ決メ方ハ少シ狹過ギルノデハナイデアリマセウカ、私ハ戰争ガ熾ンデモ矢張り暫クノ間ハ本法ノ適用ガアルヤウニシタ方ガ一層適切デハナカッタカ、即チ戰時ト云フ代リニ臨時ト云フヤウナ意味ノ法律ニサレタ方ガ適當デハナカッタカト思ハレルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 先ヅ是ハ御質問外デアリマシテ、既ニ御了解濟ミカト思ヒマスガ、戰時ニ於キマシテ融資ヲ致シマシタコトノ後始末ト申シマスカ、融資或ハ投

資致シマシタ場合ニ、戰争ガ終レバ直グソレヲ回收スルトカ、賣リ放ストカ云フコトハ、是ハ事實上出來ナイノデアリマシテ、尙引續キ投資、融資ヲ致シタモノヲ繼續シテ持ツテ居リマシテ、又其ノ投資、融資ノ保全ノ爲ニ必要ナル、又ソレカラ派生ノ投資、融資等ハ私ハ致シ得ルト思ヒマスガ、全ク新ニ始メルコトハ出來ナイト思ヒマス、有價證券ニ致シマシテモ、買入レテ居リマスモノノ、其ノ處置ニ付キマシテノ或方策ハ爲シ得ルモノト存ジテ居リマス、併シサウデナクシテ、有價證券ノ市價安定ニ致シマシテモ、又所謂生産擴充等ニ對スル投資或ハ融資ニ致シマシテモ、所謂戰争ガ熾ンデモ、戰後ノ經營ノ爲ニ引續キテ必要ナコトガ多分ニ想像サレルノデハナイカト云フ

御考ハ私モ同様ニ感ジテ居リマス、唯立法ニ際シマシテハ、ソレデハソレガ何時迄ガ宜シイノカト云フコトニナリマス、戰争ガ濟ミマシタ後何年間ト云フコトノハハッキリシタコトハ、只今トシテハ無論豫測ガ困難ナノデアリマス、大體戰争ハ長期ヲ豫想致シテ居リマスシ、今後ノ事情ニ依ッテ新ナル立法ヲ致スカ、又此ノ法案ノ修正ト申シマスカ、形式ハ何レニ致シマスカ、其ノ邊ハ今後ノ情勢ニ應ジテ適當ニ處置ヲ執ツテ參リタイト思ヒマス、此ノ戰時金融庫法ニ依リマス投資、融資ハ極メテ必要ナコトデアリマスルガ、一面カラ申上ゲレバ採算ノ如何ト云フコトハ極メテ判明致サヌモノデアリマシテ、國庫ノ相當ナル損失モ覺悟ノ上デシナケレバナリマセヌ、尤モ初メカラ採算ノ採レナイモノデアルト云フ風ニハ實ハ原則的ニハ考ヘナイノデアリマス、不明デアル、或ハ不明モ當事者ニハ明カデ

アリマシテモ、一般カラ見テ不明デアルト云フヤウナモノモ致ス考デアリマス、ソコデ相當政府トシテハ之ニ援助ヲ致スコトニナツデ居リマス、其ノ結果ト云フモノハ一面ニハ十分ニ注意シテ參リマスガ、サウ申シテモ政府ガ補償スルト云フヤウナコトハ、氣分ノ上ニ於テハ事業ノ經營ト云フモノガ著實、堅實ニ行クト云フコトニ對スル弛ミヲ生ズル點モアリマス、ソレデ原則的ニハ一應今ノ戰時ノ必要ト云フコトニ制限致シマシテ、今後ノ事態ノ變遷ニ應ジテ適當ナル立法的處置ヲ執リタイト、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○委員長(伯耆溝口直亮君) 大藏大臣ニ對スル御質問ハ別ニゴザイマセスカ

○松村眞一郎君 此ノ度ノ法案ニ依リマスルト、貨幣法ノ關係カラ申シマシテ、第七十五條ニ「當分ノ内貨幣法第二條ノ規定ニ拘ラズ」ト云フコトガ書イデアリマスルシ、「貨幣法第十四條ノ規定ハ當分ノ内之ヲ適用セズ」ト云フコトガ七十六條ニアル譯デアリマス、貨幣法ノ規定ハ將來ドウ云フヤウナ工合ノ方向ニ、政府ニ於カレマシテハ改正ヲサレルヤウナ御考ヲ御進メニナツテ居ルノデアリマセウカ、ソレハ現在ノ貨幣法ノ第二條ニ於キマシテハ、價格ノ單位ハ「純金ノ量目七百五十「ミリグラム」ヲ以テ價格ノ單位ト爲シ之ヲ圓ト稱ス」ト云フコトニナツデ居ル譯デアリマス、此ノ第二條ノ規定ガ當分ノ内行ハレナイト云フコトニ進ンデ參ル場合ニ於テ、法律上ノ疑義トシテ私ノ考ヘマスノハ、日本ノ總テノ價格ノ單位ガ圓デアルト云フコトヲ法制上決メテ居ル根據ガナクナルノデヤナイカ、唯色々ナ所ニ、例ヘバ日本銀行法ノ第五條ヲ見ルト、「日本

銀行ノ資本金ハ一億圓下謂テ居ル、其ノ圓ト云フコトソレ自身モ、何ニ基イテ單位ニナッテ居ルカト云フヤウナコトモ分ラナクナッテシマフ虞ガアルト云フ感シヲ致スノデアリマス、價格ノ單位ガ圓デアルト云フコトノ法律上ノ根據ハ、貨幣法第二條ノ外ニ何處カニアルノデゴザイマセウカ、此ノ貨幣法ヲ將來ドウ云フヤウナ方向ニ動カス、或ハ改廢スルト云フヤウナコトノ御考モ御持チニナッテ居ルノデアリマセウカ、サウ云フ點ニ付テ伺ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 貨幣法ハ追ッテ改正ヲ致シタイト存ジテ居リマス、ドウ云フ風ニ改正スルカト云フコトハ、是ハ多少ノ腹案ヲ持ッテ居リマスケレドモ、案ガ纏マリマシテカラ申上ゲタイト思ヒマス、大體金ヲ離脱スル方向ニ參ルノデアリマス、尙此ノ日本銀行法第七十五條ハ、保有スル金地金及金貨ノ價格ガ貨幣法ノ第二條ノ規定ニ依ラナイ、斯ウ云フコトヲ法律論トシテハ規定シテアルノニ過ギマセス譯デゴザイマス、從ヒマシテ御疑問ノヤウナ所迄ニハ問題ガ進マナイヤウニ存ジテ居リマス

○松村眞一郎君 ソレデ第七十八條ニ於キマスルト云フト、金準備評價法ト云フモノヲ廢止サレルトコトニナルノデアリマス、今ノ七十五條ニ依ッテ貨幣法ノ一條ニ依ラザルコトニナル譯デアリマスカラ、凡ソ日本銀行ノ保有シテ居リマスル所ノ金ト云フモノヲ、如何ナル標準ニ於テ圓トノ結び附ケヲスルカト云フコトハ、法律上明文ヲ失フコトニナルノデアリマスガ、ソレハソレデ宜シウゴザイマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ第七十五條ノ二項ニゴザイマス、主務大臣ノ認可シタ

ル價格ヲ以テ評價致シマス、ソレニ依ッテ……

○松村眞一郎君 ソレハ三十二條ノ末項デゴザイマセウネ

○國務大臣(賀屋興宣君) 間違ヒマシタ、朝鮮トアリマスカラ……

○松村眞一郎君 三十二條ノ末項ニ依ッテ御決メニナルト思ヒマス、サウ致シマススト私ノ疑問トスル所ハ、從來ノ法律ノ規定ニ明瞭ニ金ト圓トノ關係ガ定メラレテ居ッタノデアリマスガ、今後ハ法律上ニハハッキリシナイ、主務大臣ノ認可デ定メラレルノデアリマス、斯ウ云フコトニナルノハ當然ダト思ヒマスガ、サウ致シマススト云フト、凡ソドノ位ナ所ニ目標ヲ御置キニナッテ居ルカト云フコトガ、法律ノ上デハチヨット見當ガ付カナクナルト云フ感シガスルノデアリマスガ、其ノ點ハドウデゴザイマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) ソコガ世間デ所謂管理通貨制度ト申シテ居ル所以デアリマシテ、金ト云フモノニ對シマシテハ、全ク他ノ物資、資材ト同ジ關係ニ立ッテ、金ニ對シテ特殊ノ關係ヲ持タナイ、斯ウ云フ觀念デアリマス

○松村眞一郎君 特別ナ關係ヲ持タナイト云フ御議論デアリマスケレドモ、第三十二條ヲ見マススト云フト「同額ノ保證ヲ保有スルコトヲ要ス」トナッテ居リマス、銀行券ノ發行高ニ對シマシテハ此處ニ掲ゲテアルモノガ保證ニナッテ居ル譯デス、保證ト云フコトノ間ニ關係ガ私ハアルト思ヒマス、關係ナイ意味ニ於テ保證ガアル譯ハ私ハナイト思フ、其ノ保證ノアリマス中デ、ドレガ一番具體的ニ掴ミ得ルカト申シマス私ハ地金銀デアラウト思フ、何故カト申シマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ第七十五條ノ二項ニゴザイマス、主務大臣ノ認可シタ

商業手形トカ、或ハ貸付金デアルトカ、國債トカ、債券デアルトカト云フヤウナ一號、二號、三號、四號ニ掲ゲテアリマスモノハ總テ矢張り圓デ示シテ居ル、圓デ示シテアルモノヲ圓デ保證シテ居ルト云フコトニナルノデアリマス、圓ト圓トノ保證ト云フコトニナルト、圓其ノモノノ物差ガ分ラナイト云フコトニナリマス、結局地金銀ニ依ッテ初メテ圓ト今大臣ノ仰セラレマシタ物資、資材トノ關係ガ分ルノデス、今ノ手形トカ、國債トカ、債券トカト云フモノハ、是ハ物資デヤナイ、此處デ三十二條デ書イテアル所ノ物資ト云フノハ、第六號ニ依ッテ初メテ分ルノデアリマスカラ、總テノ物資ヲ考ヘラレルト言ハレマスケレドモ、兎モ角金ト云フモノニ重點ヲ置イテ居ルト云フコトハ、私ハ認メラレルノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ點ハ如何デアリマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 其ノ點ハ重點ヲ置イテ居リマセス、外ノ物ガ圓デ宜シイノデアリマス、其ノ圓ト云フモノハ購買力ヲ持ッテ居ル、其ノ物資トノ關係デ宜シイノデアリマシテ、地金銀ト云フモノノ保有ヲ認メマスガ、之ニ特ニ重點ヲ置イテ居ル譯デアリマセスデ、統一的一ニ是ノミガ物資ニ繫リヲ持ッテ居ルト云フ考ヘ方デハナイ、事實上銀行券ト云フモノガ空デ出ルノデヤナイ、出ルダケノ背後ニ經濟的ノモノガ……モノト云フノハ物資バカリノ意味デアリマセス、廣ク存在シテ居ル、力ガ存在シテ居ル、是等ノ手形等ガ圓トシテ、皆ソレノ間接ニハ設備物資ニ繫リヲ持ッテ居ル譯デアリマス

○松村眞一郎君 カノ存在ヲ私ハ認メルノデアリマスガ、其ノ力ノ標準ヲ私ハ御聽キ

シテ居ル、圓ト云フコトデ示シテ居ラレルノデアリマスカラ、圓ハ何ニ關係ヲ持ッテ居ルカト云フコトニナリマス、結局茲ニ銀行券ヲ認メラレル以上ハ、其ノ銀行券ハ交換ノ媒介トシテ御認メニナルコトハ間違ヒナイ、物々交換ノ手段トシテ茲ニ銀行券ガアル、銀行券ハ物差デアリマスカラ、物差其ノモノノ値打ガ定ラナイト外ノ物價ガ定ラナイト云フコトニナルダラウト思フ、物差デアルト云フコトハ御認メニナルダラウト思フ、其ノ物差ガドレ位アルカト云フコトハ、圓其ノ物以外ノ物デ見ナケレバ、圓ハ圓デアルト云フノデハ物差ノ値打ガ分ラナイコトニナルカラ、其ノ意味ニ於テ金ハ矢張り一ツノ見返リトシテ御覽ニナッテ居ルノデヤナイカ、ソレデアレバ私ノ結論ハ、金準備評價法ニアリマスヤウナ比率ハ、今後ドウ云フヤウナ程度ニ御尊重ニナルノデアリマスガ、金準備評價法ニアリマス、當分ノ內貨幣法第二條ノ規定ニ拘ラズ純金ノ量目二百九十ミリグラムニ付一圓ノ割合ヲ以テ評價スベシト云フ、此ノ規定ヲ尊重サレテ宜クハナイカト云フコトガ私ノ結論デアリマス、從ッテ是ハ明文ニ置カレテ宜クハナイカ、其ノ規定ヲ日本銀行法ノ中ノ今ノ金及金地金ノ評價ノ標準トシテ、當分ノ內之ヲ尊重スルノデアルト云フコトヲ御掲ゲニナルト云フコトハ、金ト云フモノト銀行券トノ間ノ相關關係ガ此處ニハッキリスルト云フヤウニ考ヘル、即チ圓ト云フモノト他ノ物資トノ相關關係ガハッキリスル、斯ウ云フ意味ナンドス

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ御意見ガ相違致シマシテ、私共ハ圓ハ各種ノ物資トノ交換比率ガ圓ノ價值デアルト思ッテ居ル、金

トノ交換比率ト云フモノハ圓ノ極メテ小部
分デアリマス、金トダケノ換算率ヲ持テ行
クト云フコトハ寧ロ間違デアル、一般的ノ
綜合物價ト云フモノガ圓ノ價值デアルト云
フ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ致シテ居ルノデアリ
マス、從ヒマシテ金ニ一定ノ換算比率ヲ持
ツト云フ考ハ持ッテ居リマセヌ、當分ノ處置
ト致シマシテハ、現在ト同様ナ保有關係デ
參ル積リデアリマスルガ、是ハ世界的ニ日
本ノ通貨ト外國ノ通貨トノ換算率ノ自ラ定
リマスル所、世界的ニ金ト云フモノガ通貨
トドウ云フ換算率ニナリマスルカ、是等ヲ
睨ミ合セマシテ時々其ノ處、時ニ依リマシ
テ適當ニ定メタイ、金ニノミ確定換算率ヲ
持タナイ、斯ウ云フ風ナ考ヘ方ヲ致シテ居
ルノデアリマス

○松村眞一郎君 金ニノミ依ラナイト云フ
コトハ御意見ノ通りデ、私共モサウ云フヤ
ウニ考ヘテ居リマス、併シナガラ今御話ニ
ナリマシタ如ク、世界的ニ金ガ通貨ト如何
ナル關係ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ御覽
ニナルト云フコトヲ仰シヤッテ居ルノデア
リマスカラ、其ノ御覽ニナル範圍内ニ於テ
金ト圓トノ關係ヲ示シテ置イテ宜クハナ
イカト云フコトニナルンデス、意見ト云フコ
トデアレバ意見ノ相違デアリマスカラ、金
ダケハ見ナイ、併シ金ヲモ見ルト云フコト
ハ御認メニナッタコトデアラウト思フ、金モ見
ル、其ノ見ルモノノ一ツダケハハッキリシ
テ置イテ宜カラウト思フ、何モ分ラナイノ
デアリマスカラ、金ダケハハッキリシテ置
イタラ宜カラウト思フ、私ハ綜合的ニ考ヘ
テ他ノ國ノ物價ト通貨トノ間ノ値段ヲ御定
メニナルト云フ、今度ノ法律ノ法案ノ御趣
旨ニハ異議ヲ持ツモノデヤアリマセヌ

○國務大臣(賀屋興宣君) 今申上ゲマシタ
ヤウニ其ノ時ノ時宜ニ依ッテ定メマスモノ
デアリマシテ、從ヒマシテ法律デ一定ニ定
メテ置クト云フコトハ、寧ロ適當デナイノ
デアリマス、從ヒマシテ主務大臣ノ認可デ
之ヲ定メタイ、斯ウ思フノデアリマス

○松村眞一郎君 意見ノ相違ニナリマスカ
ラ……併シナガラ金準備評價法ニ書イテア
ル純金量目二百九十「ミリグラム」ノ割合
ヲ以テ評價スルト云フコトハ、當分ノ内ソ
レデ御實行ニナルト云フコトデ、了解シテ
宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 當分ハソレデ實
行致シマス、併シソレハ拘束的ノ考ハ持チ
マセヌ、狀況如何ニ依ッテハ始終必要ガア
レバ變ヘテ參リマス、當分ハ變ヘル考ハ
持ッテ居リマセヌ

○松村眞一郎君 勿論當分ノ内デ宜シイ、
法律ハ主務大臣ガ認可ヲ以テ定メルト云フ
建前ニナッテ居リマスカラ、是ハ變ヘナイ
ト云フコトニナレバ、是ハ又認可ノ必要ハ
ナイト思ヒマスカラ、勿論御變ヘニナルコ
トハ當然ト考ヘテ居リマス、拘束力ヲ永久
ニ持ツモノトシテ質問ヲ致シテ居ルノデハ
ナイノデアリマス、結局スル處、金準備評
價法ノ第一條ノ規定ハ、當分ノ内ハ尊重シ
テ行ク積リデアルト云フコトニ了解シテ宜
シイノデスネ

○國務大臣(賀屋興宣君) 實體ノ保有價格
ヲ變ヘテ行クト云フ譯デアリマシテ、アレ
ガ圓トノ結び付キノ一ツノ目安ト云フヤウ
ニハ見ナイノデアリマス、只今ノ法律ノ制
定ハ、サウ云フ點ニ於テハ實體ノ變更ヲ認
メテナイノデアリマスガ、今後或ハ買上價
格ガ變リマスルトカ色々致シマシタラ變ヘ

マスガ、只今直ガ變ヘル必要ハ認メテ居ナ
イ次第デゴザイマス

○松村眞一郎君 日本ノ價格ノ單位ガ圓デ
アルト云フコトハ、今日矢張り貨幣法ノ外
ナイノデゴザイマセウネ

○國務大臣(賀屋興宣君) 其ノ通りデゴザ
イマス

○松村眞一郎君 ソレカラ日本銀行ノ監督
ノ點デアリマスガ、是ハ會計検査院トノ關
係ハドウ云フコトニナリマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 検査院法ニ依リ
マシテ、政府ガ補助等ヲ致シマス法人ニ對
シテハ、會計検査院ニ検査權能ガアルト云フ
コトニナリマスガ、日本銀行ニ今ノ四分配
當ヲ保證致スコトニナッテ居リマスカラ、
會計検査院ノ検査ニ服スベキ範圍ニ入ルト
存ジマス

○松村眞一郎君 會計検査院法第十三條ノ
第四號ノ規定デアリマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 左様デアリマス

○松村眞一郎君 政府ハ此ノ規定ダケデナ
ク、モウ少シ日本銀行ト會計検査院トノ間
ノ検査ヲ、政治的ニ行フト云フヤウナ御考
ハナイノデアリマセウカ、此ノ十三條ノ規
定ハ、唯會計検査院ノ任意デアリマスカラ、
検査シテモ宜イ、検査シナイデモ宜イト云
フコトニナルト思フノデアリマス、是ハ日
本銀行ニ付テノミデハナク、國務大臣トシ
テ一般的ノ御考慮ヲ煩ハシタイト思フノデ
アリマス、色々ナ營團ガ出來マスルシ、大
藏省關係ノ金庫ト云フヤウナモノモ近頃非
常ニ澤山出來テ居ルノデアリマス、是ハ民
間ノ普通一般ノ營利會社デアリマセウカ、
會社等經理令ト申シマスカ、サウ云フヤウ
ナ方面ノ監督ヲ受ケテ居ナイ、從ッテ何等

カ或基準ノ下ニ検査ヲ致サレルコトガ、非
常ニ必要デナイカト私ハ思フノデアリマス、
會計検査院ノ方ノ増員カ何カシテ貰ッテ、
近頃多ク出來マス所ノサウ云フ特設ノ營團
トカ、日本銀行ハ勿論デアリマスガ、サウ
云フモノニ付テ、何等カ政府ヨリ離レタ所
カラ、極ク局外的ニ冷靜ニ検査ヲシテ貰フ
ト云フヤウナ施設ガアッタ方宜クハナ
イカト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレ等ノ點
ニ付テ大臣ノ御考ハ如何デゴザイマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 日本銀行ハ從來
極メテ凡帳面過ギル程凡帳面ニ内容ガ出來
テ居ル所デアリマス、國庫事務ニ付キマシ
テハ、特ニ検査院ガ政府ト同ジヤウニ検査
ヲ致シマスルシ、只今日本銀行ト致シマシ
テ、特ニ會計検査院ノ検査ヲ之ニ付テ特設
ニ致スト云フ必要ハ認メテ居リマセヌ、尙
其ノ他ノ各種ノ營團ノモノニ付テ御説ガ
アリマシタガ、是等ノモノハ經理ガ極メテ
適正嚴格ニ行カナケレバナラスコトハ、御
説ノ通りデアリマス、検査ヲ致シタイト思
ヘバ、致シ得ルコトニナッテ居ルノデアリ
マシテ、皆適正嚴正ニ經理ヲ致シテ居リマ
スルガ、必要ニ應ジテハ、検査院ノ検査ヲ
受クルヤウニ考ヘテ宜イト思ヒマス、又檢
査院モ是等ノ國策會社ト云フヤウナモノニ
對シテハ、時々實際ニ検査ヲ致シテ居ラレ
ルヤウニ私モ存ジテ居リマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 他ニ質問ハゴ
ザイマセウカ、ソレデハ大藏大臣ニ對スル
質問ハ是デ終ッタトシテ宜シウゴザイマス
カ、ソレデハ是カラ一般ノ御質問ヲ願ヒマ
ス

○竹下豐次君 戰時金融庫法ノ資本金ノ
問題ニ付テ簡單ニ御尋ネ致シタイノデアリ

マス、第三條ヲ拜見シマスルト云フト、資本金ハ三億圓ト云フコトニナッテ居リマス、其ノ第二項ニ主務大臣ノ認可ヲ受ケテ之ヲ増加スルコトガ出來ル、第五條ニハ政府ハ二億圓ヲ限リ出資スルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスノデスガ、將來資本金ヲ増加サレル場合ニ於キマシテモ、政府ノ出資ハ矢張り二億圓ヲ超シテハイケナイノダト云フコトニナルノデアリマセウカ、チヨット此ノ條文ヲ拜見シタダケデハ、サウ云フコトニ受取レルノデアリマス

○政府委員(田中豐君) 左様デゴザイマス、將來増資ヲ致シマシテモ、第五條ノ政府出資ノ金額ヲ變更致サナイ限リ、政府ノ出資ハ二億圓ニ限ラレテ居ル譯デアリマスガ、實際問題ト致シマシテハ増資致シマス際ハ、此ノ五條ノ規定ノ改正ヲ致シマシテ、政府出資ヲ増加スルコト云フヤウナコトガ考慮サレルカト思ヒマス

○竹下豐次君 將來ノ改正ヲ御見込ニナッテ居ルト致シマスレバ、寧ろハ二億圓ト云フ風ニ御書ニナラナイデ、モウ少シ外ノ言ヒ現ハシデ御ヤリニナッタ方が、再ビ改正ノ必要ガ生ジタ時ニ、其ノ點ヲ省クコトニナリハシナイカト思ヒマスガ、尤モ増資スルト云フコトハ、モウ殆ドナイ見込ダト云フヤウナ御考デアッタ別デゴザイマスケレドモ、其ノコトヲ御伺ヒ致シマス

○政府委員(田中豐君) 御説ノ通り此ノ五條ノ書キ方ヲ、例ヘバ資本金ノ三分ノ二ハ政府出資トスルコト云フヤウナコトヲ書イテ置ケバ、自然ニ政府ノ出資ガ増加スルト云フヤウナコトニナルカラ、サウ云フ點カラハ便利デアルト存ジマス、併シナガラ一應此ノ戰時金融庫ハ主トシテ資金ハ債券デ

第四部第一二類 國民更生金庫法中改正法律案特別委員會議事速記録第五號 昭和十七年二月十日

賄フコトニナッテ居リマシテ、現在ハ拂込資本金ノ十倍ノ債券ヲ發行シ得ルコトニナッテ居リマスガ、更ニ資金ガ足りナケレバ之ヲ増加シテ行クノデ、資本金ノ増加ヨリモ債券ノ發行限度ヲ増加スルト云フヤウナコトモ考ヘラレマス、ソレモ矢張り法律ノ改正ヲ要スルノデ、規定ト致シマシテハ、三分ノ二ハ必ズ政府出資トスト云フノハ、御説ノ通り第五條ハ三分ノ二ト書イタガ宜カッタト思ヒマスガ、何レニシテモ資金ハ主トシテ債券カラ出スベキデアルト考ヘマシテ、資本金ノ方ノ増資ハ只今ノ處勿論豫想ハ致シテ居ラス譯デアリマス

○竹下豐次君 三分ノ二以內ト書キマシテモ矢張りイケナイノデスカ

○政府委員(田中豐君) 三分ノ二以內ト書キマスレバ宜イ、宜イト申シマスノハ、増資ノ際ニ政府ガ三分ノ二以內デ出資額ヲ増加シ得ルト思ヒマスガ、サウ書クコトガ宜イカドウカト云フ問題ハ、先ヅ増資ヨリモ債券ノ發行限度ノ改正ト云ッタヤウナコトヲ考慮スベキ問題デヤナイカト思フノデアリマス

○竹下豐次君 次ニモウ一ツ御尋ネ致シタイノデアリマスガ、此ノ金融庫ニ協同證券會社ヲ統合サレマス際ニ、相當額ノ配當ヲ株主ニ爲サイマシテ、其ノ殘金ハ全部金融庫ニ引繼グト云フヤウナ御考ノヤウニ承ツタノデゴザイマスガ、ソレハサウ云フコトニナッテ居ルノデゴザイマスカ

○政府委員(田中豐君) 日本協同證券株式會社ハ、現在相當有價證券ノ最近ノ値上リ等ニ依ッテ或程度ノ利益ガ舉ッテ居ルヤウデゴザイマス、之ヲ戰時金融庫ニ合併致シマス際ハ、協同證券ノ方ガ設立以來無配デ

參ッテ居ル關係モアリマスノデ、或程度ノ配當ヲ致シテ、殘餘ノ財産ハ戰時金融庫ニ引繼ギタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○竹下豐次君 重ネテ御尋ネ致シタイノデアリマスガ、實ハ法律關係ハ私ハ能ク了解致シ兼ねルノデ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、商法ノ關係カラ見マスルト云フト全部配當爲サルベキモノデアッテ、配當ノ殘リヲ金融庫ニ引繼グト云フヤウナコトハドウ云フ法律ニ依ッテ出來ルモノカ、何カ法ノ根據ガオアリガラウト思ッテ居リマス、能ク調べマスレバ何處カニ規定ガアルカト思ヒマスガ、見當リマセスノデ、其ノ點ヲチヨット御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(田中豐君) 五十七條ノ規定ニ依リマシテ、戰時金融庫ノ成立ニ因リ日本協同證券株式會社ハ之ニ吸收セラルルモノトシ日本協同證券株式會社ノ權利義務ハ戰時金融庫ニ於テ之ヲ承繼ス、デ戰時金融庫ノ成立ノ際ニ於ケル日本協同證券株式會社ノ權利義務ハ一切戰時金融庫ニ引繼グコトニナリマスノデ、日本協同證券株式會社時代ニ於テ、或一定ノ事業年度ニ或程度ノ配當ヲ致シマシタ殘餘ノ財産ハ、全部戰時金融庫ニ引繼グコトニ相成ルト考ヘテ居リマス

○竹下豐次君 私は是デ終リマス

○松村眞一郎君 産金ノ問題ニ付テ商工省ノ方ノ政府委員ノ御方カラ御説明ヲ承リタイト思フノデゴザイマスガ、御出ニナッテ居リマスカ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 只今呼ビニ參リマシタカラ、暫ク御待ヲ願ヒマス、ソレデハ如何デゴザイマセウカ、便法ト致シマ

シテ、戰時金融庫法並ニ臨時資金調整法中改正法律案、此ノ二案ノ御質問ハ略、終了シタモノト考ヘマスガ、此ノ方ヲ先キニ片附ケテヤドウデゴザイマスガ、御差支ナケレバサウ致シタイト思ヒマス、此ノ二案ヲ同時ニ掛ケマシテ、御討論ヲ願ヒマス、別ニ御發言ガナケレバ採決ヲ致シタイト存ジマス、此ノ二案ハ政府原案通り決定致シマシテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ滿場一致可決致シマシタモノト認メマス、次ニ日本銀行法案ニ付テハ只今商工省ノ政府委員ヲ呼ビニ參リマシタカラ、暫ク御待ヲ願ヒマス、ソレデハ商工省ノ政府委員ガ見エマシタカラ、松村君カラ御質問ノ御趣旨ヲ御述ニナッテ下サイ

○松村眞一郎君 日本銀行ノ法案ノ關係カラ申シマシテ、銀行券ノ發行ヲ致シマスル保證ノ規定ガ三十二條ニアルノデアリマスガ、其ノ中ニ「地金銀」ト云フモノヲ其ノ保證ノ一ツトシテ加ヘテ居ルノデアリマス、從來產金法ガ制定セラレ、金ノ生産ヲ獎勵セラレテ居リマスル關係ハ、國內ニ於ケル元ノ日本銀行ニ於ケル兌換券ノ基礎ヲ確實ニスルト云フ意味モ入ッテ居ルト私ハ思ッテ居ルノデアリマスガ、尙對外爲替關係ノ決済ニ於テ金ヲ必要トスルト云フヤウナ事情モアッタノデアラウト思フノデアリマス、サウ云フ關係カラ產金法ノ制定ヲ見、政府ハ補助金ヲ出シテ十分ニ其ノ増産ノ出來ルヤウニ努力サレタノデアリマスガ、其ノ從來ノ經過、結果及將來ドウ云フヤウナ見透シニ於テ進メテ行カレルノデアリ、ドウ云フヤウナ方向ニ國內ノ銀行券ト云フヤウナモノニ

對スル保證ノ關係ニ貢獻シ、對外決濟ニモ寄與スル所ガアラウト云フヤウナ工合デ、ドウ云フヤウナ御方針デ御進ミニナッテ居リマセウカ、大體ニ於ケル金ノ產額ノ關係ハドウ云フヤウニ處置サレテ居ルカト云フコトニ付テ承リタイト思ヒマス

○政府委員(津田廣君) 只今ノ御尋ハ產金政策ニ對シマスル政府ノ今迄ノ實績、竝ニ今後ノ方針ト云ツヤウナモノハドウデアルカト云フ御尋デゴザイマス、御承知ノヤウニ從來產金法竝ニ日本產金振興株式會社法ト云ツヤウナ法律ニ基キマシテ、政府ハ極力金ノ増産ニ邁進シテ參ッテ居ル譯デゴザイマス、一時ハドンナ低品位ノ山デモ、兎ニ角「グラム」デモ何デモ餘計出サナケレバナラヌト云フコトデ、有ラユル小サナ鑛山ニ對シマシテモ、此ノ増産ト云フコトニ付テハ有ラユル手段ヲ講ジテ參ッテ居ル譯デアリマス、政府ト致シマシテハ探鑛獎勵金ヲ選鑛場設置、精鍊所設置ト云ツヤウナモノニ對シマスル補助金ト云フヤウナモノヲ相當年々計上致シマシテ、日本產金株式會社ヲ通ジテ此ノ増産ニ努メテ參ッタノデアリマス、其ノ實績ニ付キマシテハ只今年々ノ產額ノ數字ヲチヨット此處デ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、年々相當殖エテ參ッテ居リマス、處方最近ニ至リマシテ昨年ノ英米諸國等ノ資金凍結以來、金ニ對シマシテ今後ハモウ其ノ價值ガナインノデヤナイカ、產金政策ト云フモノハ此ノ際思切ッテ方角ヲ變ヘテ、モウ金ナシカ出サヌデモ宜シイト云フヤウナコトデハナイカト云フ風説ガアチコチニ起ッテ居ル譯デアリマス、差當リ國際資金ノ決濟ト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、今サウ必要トシナイト云フヤウナ

一部ノ點カラ致シマシテ、サウ云ツヤウナ考ヘ方ガ方々ニ蔓延シテ居ルト云フコトハ甚ダ私共ト致シマシテハ遺憾ニ存ジテ居ル次第デアリマス、金ニ對シマシテハ、今後モ少ク共現狀程度ノ生産ハ極力維持シテ行カナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマシテ、來年度ニ於キマシテモ此ノ探鑛獎勵金其ノ他ノ補助金等モ殆ド前年ニ近イ金額ノ計上ヲ見テ居ル譯デアリマス、今後ノ見透シカラ致シマシテハ何處迄モ此ノ現狀程度ノ生産ノ維持ト云フコトニ付テ邁進シタイト、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス、唯其ノヤリ方ニ付キマシテ最近重點主義ト云フコトヲ執ッテ居ル譯デアリマス、從來ノヤウニドンナ貧弱ナ山デモ、ドンナ金ヲ掛ケテモ掘出サナケレバナラヌト云フ建前ハ、是ハ變更ヲ漸次加ヘツ、アルノデゴザイマス、今後ハ專ラ重點主義ノ徹底ト云フヤウナコトニ力ヲ盡サナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノコトハ別ニ金ガ要ラナクナツタカラサウ云フコトニスルト云フノデアリナイノデアリマス、他ノ一般中小企業ニ對シマスル整理統合ト云ツヤウナ考ヘ方ト同ジヤウニ、矢張り資材ナリ、勞務者ト云ツヤウナモノガ非常ニ廻リ兼ネテ參ッテ居リマスノデ、ドウシテモ徹底的ニ重點主義ト云フモノヲ執リマシテ、能率ガ良イ山ニ生産ノ増強ヲ圖ツテ貰フ、斯ウ云フ意味合カラ致シマシテ、今後ハ有力ナ山ニ重點ヲ置イテ増産ヲ圖ルト云フコトニナラザルヲ得ナイト考ヘルノデアリマス、其ノ爲ニ若干「コスト」ノ高イ製品ヲ買フト云ツヤウナ貧弱ナ鑛山等ノ中ニハ、整理ヲ加ヘテ行カナケレバナラヌト云フヤウナモノモ出テ來ヤシナイカト考ヘラレマス、其ノコト

ハ別ニ金ニ對スル將來ノ價值ガ無クナル爲ニサウ云フコトヲスルノデアリナイノデアリマシテ、全ク他ノ資材其ノ他ノ理由カラ致シマシテノ重點主義、斯ウ云フコトデゴザイマス、御承知ダラウト存ジマスガ、一般ニ鑛產物ニ付キマシテハ今直グ是ダケノモノガ欲シイト云フコトデ、急激ニ其ノ大量ノモノヲ要求サレマシテモ、ナカノ直グ出セナイヤウナ狀態ニアルノデアリマス、石炭等ノ如キ比較的鑛脈等ノハッキリ致シテ居リマスモノニ付キマシテモ思ヒ切ッテ増産ヲヤルト云フノニハ、ドウシテモ二、三年ノ少クトモ年月ヲ要スル、色々ナ準備ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ狀態ナノデアリマス、金等ニ於キマシテハ殊ニ色々ノ準備ガ必要ナノデアリマシテ、是ハモウ御承知ダラウト思ヒマス、今俄ニ一年、二年ノ中ニ急激ニ是ダケノモノヲ出セト言ハレマシテモ、其ノ場合ニ追ヒ付カナイト云フヤウナコトモアリマスノデ、是ハ是非相當ノ有望ナ山ニ付キマシテハ、今後トモ其ノ生産ノ維持増強ト云フコトニ矢張り政府トシテ有ラユル方面カラ援助シテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○松村眞一郎君 私ハソレデ結構デゴザイマス

○子爵舟橋清賢君 チヨット速記ヲ止メテ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記始メテ……日本銀行法案ニ付テ御質問ハ終ッタト見テ宜シウゴザイマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ只今ヨリ討論ニ移リマス

○松村眞一郎君 私ハ質問致シマシタ所デ御了解ヲ得タカト存ジマスルガ、此ノ度ノ銀行法ハ一方ニ於テ貨幣法ヲ其ノ儘存置シ、價格ノ單位ハ金ヲ以テ示シテ居ルト云フ規定ハアルノデアリマスケレドモ、事實上適用シナイガ如キ形ニ於テ取扱ハレテ居ルノデアリマス、元ハ兌換銀行制度デアリマシタカラ、此ノ點ハ非常ニ明瞭デアリマスケレドモ、今度ハ此ノ關係ハ非常ニ不明確ニナルノデアリマス、且大臣ノ御答、政府委員ノ御答辯ニ依リマシテモ金準備評價法ノ第一條ニ掲ゲテ居ル比率ハ、是ハ尊重シテ行クト云フコトヲ申シテ居ラレルノデアリマス、此ノ規定ハ圓ト云フモノト金トノ關係ヲ一ツノ物差トシテ示シテ居ルコトニナルノデアリマス、物差ナクシテ價格ノ單位ヲ論ズルト云フコトハ、私ハ當ヲ得ナイコトト考ヘマスカラ、第三十二條ノ末項ニ但書ヲ附ケルト云フ修正意見ヲ提出スルノデアリマス、其ノ但書ハ「案、第三十二條第五項ニ左ノ但書ヲ加フ、但シ第二項第六號ノ金地金(金貨ヲ含ム)ハ當分ノ内純金ノ量目二百九十ミリグラムニ付一圓ノ割合ヲ以テ評價スベシ」之ヲ但書トシテ附ケタイト云フ意見ヲ申述ベル次第デアリマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 只今ノ松村委員ノ修正案ノ御發議ハ贊成者ガゴザイマヌカラ成立致シマセヌ、原案ニ付テ採決致シマス、原案全部政府原案通りデ御差支ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ全會一致可決致シマシタ、是ニテ本委員會ヲ終リマス

午後三時三十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵溝口 直亮君
副委員長 男爵東久世秀雄君
委員

預金部長官 相田 岩夫君
商工省鑛產局長 津田 廣君

公爵鷹司 信輔君
侯爵嵯峨 實勝君
侯爵蜂須賀正氏君
子爵曾我 祐邦君
子爵加藤 泰通君
子爵裏松 友光君
子爵梅園 篤彦君
子爵舟橋 清賢君

松村眞一郎君
後藤 文夫君
小倉 正恒君
男爵伊藤 文吉君
男爵八代五郎造君
男爵倉富 鈞君

竹下 豐次君
土方 久徵君
米山 梅吉君
瀧川 儀作君
岩田 宙造君
秋田 三一君
仲村 清榮君

國務大臣

大藏大臣 賀屋 興宣君

政府委員

大藏次官 谷口 恒二君

大藏省理財局長 山住 克巳君

大藏省銀行局長 山際 正道君

大藏省會社部長 田中 豐君

大藏書記官 楠田 光男君

同 伊原 隆君

昭和十七年二月十三日印刷

昭和十七年二月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局